

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		昭和46年～	
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	01 やさしさあふれるまちづくり
	小項目	施策	01 子育て支援
事務事業名		07 児童遊園地管理事業	
根拠法令・例規等		備前市児童厚生施設設備補助金交付要綱他	
問		担当課(室)	保健福祉部こども課
合		職・氏名	こども福祉係長 大森賢二
先		電話	0869-64-1825
		このシート作成に要した時間	1.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	地域の児童及び保護者
目的(何のために)	次世代を担う児童が地域で安全にのびのびと遊ぶ場を提供する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	事故の未然防止に努め、安全安心な遊びの場とする。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	児童遊園地管理事業	市内児童遊園地の管理運営事業	
	児童厚生施設設備補助事業	ちびっこ広場等の公園施設整備費の助成を行う	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		2,745	3,623	2,763	
	必要人員(人件費)	千円	0.08人	641	0.09人	751
	事業費		3,386	4,374	3,398	
	国県支出金					
	受益者負担					
	繰入金	千円				
その他()						
一般財源		3,386	4,374	3,398		
受益者負担比率	%	-	-	-		
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
遊園地数	説明		市が管理する児童遊園地数			
結果指標量	事業		32	32	33	
対前年比	%		100.0%	100.0%	103.1%	
活動コスト			1,683,248	1,655,038	1,725,409	
単位当たりコスト	円		52,602	51,720	52,285	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
児童遊園地で発生した事故件数	目標値(A)	0	0	0	事故件数0件
	実績値(B)	0	0	0	到達目標値
	達成率(B/A)	到達	到達	到達	毎年

成果指標設定の考え方・式や説明

修理等の管理不備による事故を無くする。

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A~E> C
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託会)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E> C
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A~E> C
有効性の評価	目的達成度 市民参画度		

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	法的拘束力はないが、遊具の耐用年数表示をする動きがある。事故が発生した場合の責任の所在が明確になるため、より適正な管理を必要とする。					

総合評価	5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	評価区分 <A~E> C	
------	---	-------------------------------	--

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	法的拘束力はないが遊具の耐用年数表示をする動きがある。事故が発生した場合の所在が明確になるため、より適正な管理を必要とする。					

Action